

指定管理者モニタリングシート（令和元年度 中間期分）

施設の名 称	富里市こども館（葉山キッズ・ランド）
施設の設置目的	児童福祉法（昭和 22 年法律第 67 号）に基づく児童の健全育成及び子育て支援の推進を図る。
施設の概要	【所在地】 富里市御料 923 番地 1 【構造】 木造平屋建て 敷地面積 1,079.78 m ² 建築面積 501.53 m ² 延床面積 447.86 m ²
施設所管課	健康福祉部子育て支援課
指定管理者	株式会社 明日香
指定期間	平成 29 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日
指定管理業務	(1) 子育て支援センター事業 (2) 一時保育事業 (3) 放課後児童健全育成事業 (4) 各事業の利用許可及び利用料徴収に関すること (5) 子育て支援に関する独自事業を行うこと (6) こども館の施設管理に関すること

■実績

①開館日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H29	24	24	26	25	26	24	25	24	22	23	23	26	292
H30	24	24	26	25	26	23	26	24	23	23	23	25	292
R1	24	22	25	26	26	19							

②利用者数(子育て支援センター事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H29	841	1,176	1,403	1,399	1,339	1,586	1,561	1,375	1,116	1,018	1,182	1,494	15,490
H30	1,238	1,375	1,449	1,424	1,317	1,209	1,249	1,103	988	941	897	1,415	14,605
R1	1,135	1,078	1,343	1,476	1,343	1,061							

■評価項目評価基準

評価	評価基準
S（優良）	協定書等の基準を遵守し、その水準を上回る内容である
A（良好）	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿う内容である
B（課題あり）	協定書等の基準を遵守しているが、一部に課題がある
C（要改善）	協定書等の基準が満たされておらず、改善が必要である

1 業務の履行状況の確認

① 事業及び業務の履行状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 協定書等で定める開館日、開館時間が遵守されているか	A	A	
2. 利用申請・許可、利用料金等の徴収、減免の取り扱いが適正か	A	A	
3. 施設の利用状況（利用者数、利用率等）は適切な水準か	A	A	
4. 協定書等で定めた職員配置となっているか	A	A	
5. 配置されている職員は必要な資格を有しているか	A	A	
6. 適正な雇用・労働条件が確保されているか	A	A	
7. 緊急時の体制整備がされ、職員に周知徹底されているか	S	S	
8. 緊急連絡網や危機管理マニュアルは、最新の状態に保たれているか	A	A	
9. 避難誘導訓練等は実施されているか	A	A	
10. 協定書等で定めた保険に加入しているか	A	A	
11. 苦情対応に関する体制が整備され、職員に周知徹底されているか	A	A	
12. 個人情報適切に管理されているか	A	A	
13. 市への報告や各種報告書の提出が適切な時期になされているか	A	A	

【新たに実施した取組み・改善した点】

- ・一時保育の利用申請や許可、また特別な事由がある場合や減免などの取り扱いなど、随時、市と連携を取りながら、適正に利用できるように対応している。また、10月より実施される無償化の手続き等についても市の規則に基づいて確実に進めるよう準備を進めた。
- ・支援センター、一時保育の職員は、全員、保育士・幼稚園教諭の資格を有している。一時保育利用希望者や低年齢児利用が多い場合など、状況に応じて保育士を配置し、多くの方に利用して頂けるよう、また安全に保育できるよう努めている。
- ・緊急対応時の体制強化
職員体制が変更になった場合は、新たに緊急連絡網を作成。緊急時・悪天候の場合は、常勤や近隣の職員が出勤し、施設の状況把握したうえで、開館が出来るような体制を整備している。
9月の台風15号では、施設や近隣の状況、交通事情等、利用者の安全を考慮し休館対応。空調設備・電気・水道などに支障がなかった為、乳児にミルクのお湯を提供し、一時的に暑さをしのげる場として、施設を開放した。
台風の影響により、復旧作業や幼稚園の行事日程変更より、一時保育では急遽の利用希望があったが、可能な限り利用できるよう協力した。学童クラブにおいても小学校が休校の中、一日預かりという形で朝からの開所を行った。
また、台風15号の影響（被害）を踏まえ、台風19号の際は、実際は休憩所として使用しなかったが、支援センターを休憩所として開放する為に前日に準備を行うなど市との連携を図った。
- ・アレルギー児の一時保育預かりについては、アレルギーに関する情報や保育中の配慮など、職員間での共通理解を図り安全に過ごせるように努めている。また、症状が出た際に速やかに対応出来るよう消防機関への情報提供の申請を行っている。
- ・防災・防犯訓練
防災訓練は、その都度、想定を変えて実施。緊急時に備えて、利用者が安全に避難できるようにしている。
また、初めての利用者には施設の説明と共に、緊急時に備えた説明をし、体制作りに備えている。
- ・学童クラブや一時保育の迎えの際、駐車場が混雑する事から、施設利用者と公園利用者が互いに限られた駐車スペースを

有効に活用できるよう「ゆずりあい駐車スペース」を設け、対策をした。

・個人情報の管理

個人情報は必ず鍵のかかる書庫に保管。問い合わせなどで市の別の管轄と連絡を取る場合には本人の同意を得ている。

【今後の取組み・課題】

- ・職員同士の伝達や情報共有を密に行うようにする。
- ・アレルギー児の対応など、現状に合わせてのマニュアル更新を行っていく。
- ・台風15号の経験を踏まえ、緊急時や災害時の対応や対策について、改めて体制を整え職員間で共通理解をしていく。
また、今後も同様に市との連携を密にしていく。

② 独自事業の実施状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 事業計画書で予定した独自事業は実施されているか	A	A	
2. 独自事業の実施にあたり必要に応じて保険に加入しているか	A	A	
3. 独自事業の実施にあたり広報等を行い、利用者の拡大を図っているか	A	A	

指定管理者記入欄

【新たに実施した取組み・改善した点】

・中部包括支援センターとの交流

今年度は利用者に親しみやすいよう「キッズ&シニア交流会」と名前を変更し、月に1度の交流を行っている。毎月、お子さんとの交流や制作あそび、手遊び、体操など楽しみにして頂いている。また、野菜や花の苗植えを手伝っていただき、生長を一緒に楽しんだ。夏休みには、学童クラブの児童と風鈴作りや、折り紙、ゲーム等で一緒に遊び、交流を深めた。

・学童クラブでは、夏休みに「おまつり」を実施した。根木名小学校区青少年相談員よりわたあめ機を貸していただき、わたあめやヨーヨー釣り・駄菓子屋さんを楽しんだ。また、支援センター、一時保育利用者に、わたあめを提供するなど交流を楽しんだ。

8月に夏休みの行事として「旧岩崎家末廣別邸」までの遠足を実施した。

岩崎家末廣別邸では、生涯学習課の方に別邸の案内、ボランティアの末廣倶楽部の方々に竹細工での水鉄砲作りを教えてくださいました。富里の文化財に触れ、また自然の中で自分で作った水鉄砲で遊ぶなど貴重な経験が出来た。熱中症の心配もあったが、消防署の協力を得て休憩所として開放して頂いたり、市の方の協力もあり、事故なく行事を終えることが出来た。

・一時保育

未満児の利用希望が多いため、0歳児が安全に過ごせるよう、食事の際に使用する乳児椅子、落ち着いた環境下で安全に遊べるよう座卓を新たに購入。他、支援利用者から寄付で頂いた乳児用サークルを使用し、子供達の安全面に配慮した保育環境を整えると共に、日々の利用年齢に合わせた保育内容及び対応を行った。連絡帳やお迎え時の報告では、一日の様子をしっかりと伝え、保護者との信頼関係を築けるよう努めた。

・制作あそび等

移動支援（公園）や中部包括支援センターとの交流の際、また七夕など季節を感じられる行事の際に制作あそびを行っている。七夕では、旧岩崎家末廣別邸から竹を頂き、館内に設置し七夕飾りを楽しんだ。

また、4月から支援センターに「ぬりえ・お絵かきコーナー」を作り、利用者に約束事（使ったら片づける・紙を大切に使う等）を伝えていきながら、楽しんで頂いている。約束を守る事の大切さを教える良い機会にもなっている。利用の子どもの年齢に合わせて、折り紙・のり等も取り入れるなど職員が臨機応変に対応し、親子一緒に制作を楽しんでいる。

・葉山こども園との交流・連携

去年までは、園庭で遊んだ後、ホールで園児による歌やダンスの発表を見て過ごし交流を図っていたが、今年度は葉山こども園との話し合いの元、先生と園児と支援センターが自然な形で関わりを持てるよう、クラスの中に入り普段の保育の中に参加し、各年齢の姿（生活・遊びなど）を見せて頂いた。年齢ごと、どのような遊びをしているのか？どのように先生やお友達と関わっているのか？集団の中に入るとどれだけ個々に動けるのか？など目の当たりで見ることができ好評だった。支援センターで遊んでいる時と違い、園児に刺激を受け、自らお片づけをする事が出来たり、座ってお話を聞いたり、ルールを守れたり、普段と違う姿が見られた。また、支援センターで行った「富里高校サマーコンサート」では、4・5歳児を招待。去年より招待の枠を広げて、多くの園児が楽しめるようにした。

葉山こども園との定期的な会議の他にも、常日頃から情報交換や相談を行って協力し合っている。

・富里高校との交流

今年度も「サマーコンサート」を実施。支援センター他、中部包括支援センター、葉山こども園、近隣住民の方を招待した。去年の反省を生かし流れや音響（スピーカー・インタラクティブ映像の音源からマイクの音を流す・マイクを2本・スタンドマイク1本用意）など準備を行ったが、マイクの声が聞きづらいという反省点もみられた。コンサート自体は素晴らしく、子どもやお年寄り向けの曲を選曲していただき、演奏に合わせて歌ったり、体を動かしたりして楽しむ姿が見られ、参加者からは喜びの声が聞かれた。

・葉山公園

職員有志の「葉山公園をきれいにする会」では、隣接している公園の管理を行い、毎朝、清掃をしっかりと行っている。また、遊具の安全点検や砂場の管理・植木の害虫駆除・犬、猫の糞の始末などを行ったり、公園の使い方についてのお知らせを掲示するなど、利用者が気持ちよく使えるようにしている。

・ワールドライブラリー

昨年度より、ワールドライブラリーによる翻訳絵本レンタルサービスの導入を行っている。好評だったので今年度も継続している。日本の絵本とは違うイラストや内容・仕掛け絵本などが子ども達にとっては新鮮で、飽きることなく楽しんでいる。

・セブンイレブン助成金の活用

職員有志の「葉山公園をきれいにする会」で応募したセブンイレブン環境市民活動助成金を活用して、花の苗・プランター等の購入をした。5月に支援利用者と一緒にプランターの土入れ、6月に親子一緒に朝顔の種まき・サルビアの苗植え、8月に色水遊びなどを行い、お花を植えた事をきっかけに、季節を感じながら花の生長を楽しんだ。

【改善点・今後の取組み】

・北部地区の充実

北部地区に支援センターがない為、北部コミュニティセンターでの移動支援が喜ばれている。今年度も北部地区の充実の一環として、新木戸大銀杏公園での移動支援を計画している。引き続き北部地区での支援事業の充実を計画していく。

・利用者負担の事業について

利用者の要望に合わせた形で育児講座の開催を行っていく。

③ 施設の維持管理状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 協定書等で定める保守管理業務が適切に実施されているか	A	A	
2. 協定書等で定める清掃業務が適切に実施されているか	A	A	
3. 協定書等で定める施設の管理業務が適切に実施されているか	A	A	
4. 備品購入を行った場合、備品台帳を整備するなど適切に管理されているか	A	A	

指定管理者記入欄	
【新たに実施した取組み・改善した点】 ・各点検表を用いて、月1度、施設内点検と室外機の点検を行なっている。今年度は、各事業の日誌の他に、管理日誌も取り入れ、毎日、施設外・施設内・掃除の点検も行なっている。 ・カーテンクリーニングの実施	
【改善点・今後の取組み】 ・外装の掃除 ・事務所内エアコン清掃	

2 サービスの質に関する評価

① 基本的事項

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 利用者に対する言葉遣いや態度等の接遇が適切であるか	S	S	
2. 広報物が見やすく作成され、効果的な情報提供を行っているか	A	A	
3. 職員の資質向上のための研修等を実施しているか	S	S	
指定管理者記入欄			
【新たに実施した取組み・改善した点】 ・研修会に参加し、資質向上に努めた。 7/6 「基礎感覚を育てる発達支援」 8/7 「子育て支援担当者研修会」 ・イベント情報や、イベントでの様子など、利用者にわかりやすく館内に掲示している。ホームページやSNSでも掲載し、積極的に外部へ発信を行っている。			
【改善点・今後の取組み】 ・今後も職員の資質向上のために、研修への参加を推進していく。			

② 維持管理業務

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 施設は清潔に保たれ、整理整頓がされているか	S	A	
2. 事故の未然防止のため、定期的に設備や備品の確認を行っているか	A	A	
3. 文書管理に関する規定を定め、文書が適切に管理・保管されているか	A	A	
4. 電気、水道等の使用量削減など、環境に配慮した取組がされているか	A	A	
5. 管理運営費節減のための取組がなされているか	A	A	
指定管理者記入欄			
【新たに実施した取組み・改善した点】 ・管理日誌をもとに毎日、施設外・施設内・清掃点検を行なっている。 ・節電への取り組みなど、職員一同、経費削減に努めている。			
【改善点・今後の取組み】 ・今後も各事業、稼働時間以外の節電に努めていきたい。			

③ 運営業務

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
1. 平等な利用を確保し、公平な運営を行っているか	A	A	
2. 独自事業の実施にあたり、事前調整や広報など円滑な実施に努めているか	A	A	
3. 利用者満足度を向上させるための方策を講じているか	A	A	
4. 利用者アンケートの結果を業務改善に反映させているか	A	A	
5. 自己評価を実施し、管理運営の見直しや業務の改善を行っているか	A	A	
6. クレームに対して適切に対応し、以降の運営に生かされているか	A	A	
7. 利用者同士の交流、気軽に子育ての相談ができる環境作りを行っているか	A	A	
8. 施設を子育てネットワークの拠点として活用しているか	S	S	
指定管理者記入欄			
<p>【新たに実施した取組み・改善した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時保育の利用希望が多い場合は、状況を伝えた上で公平な人数調整をし、なるべく多くの方が利用できるよう対応している。緊急性がある場合などは、その都度、速やかに対応し、公正な利用が出来るよう配慮している。 ・子育てに関する相談を受けた場合、コンシェルジュ・ファミリーサポートセンター・健康推進課の保健師など、必要である事業と協力し、連携を図っている。必要な情報を提供し、利用者が安心して子育てに関わることが出来るよう対応している。 ・育児講座 利用者のニーズに合った講座の実施 7月に「応急手当について」富里市消防署の救急隊員さんによる講座を開催した。 ・施設利用者や公園利用者から、真夏に暑さがしのげる場が欲しいという要望が多かった為、市民の声や現状を市に報告。砂場に日よけを設置して頂くことが出来た。施設利用者や公園利用者から感謝の声が聞かれている。 ・健康推進課との連携 今年度から、富里市健康推進課と連携を取り、「母親学級」の最終日を支援センターで行っている。これからお母さんになる方と、お母さんなりたての方々に支援センターとはどのような場所なのか知って頂く良い機会になっている。 ・支援センター職員のあり方 支援センターの職員のあり方を話し合い、職員の動き・利用者への対応・常に心掛ける事（言葉遣い・節電等含む）など、全職員共通理解を図っている。また、支援センター内の出来事・仕事の進み具合などを伝え忘れないよう伝言ノートを利用している。 ・相談記録 相談記録の書式を簡素化し、職員が記録をしやすいよう改善した。 ・向台支援センター・一時保育との連携 今年度から、月1回、会議を行い 情報交換を行っている。 <p>【改善点・今後の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度のアンケート結果を元に、より良い運営に取り組んでいきたい。 ・今年度の利用状況を分析し、より年齢にあった講座や支援・活動を検討していく。 			

3 サービス提供の継続性及び安定性に関する評価

① 施設運営及び事業収入の状況

評価項目	指定管理者	施設所管課	
	自己評価	評価	特記事項
施設運営及び事業収入の状況			
事業収支について収支計画書と乖離がないか	A	A	
管理運営経費は内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	A	A	
指定管理者の経営状況			
監査報告書に異常な指摘事項はないか	A	A	
財務諸表に異常値がなく、前期比変化が大きい場合、その理由は妥当か	A	A	
指定管理者記入欄			
【特記事項】 ・資源回収の実施 年3回（7・11・3月）、資源回収を実施。 第1回目7月は、段ボール・牛乳パック・新聞など資源物を限定し回収を行った。今後、より多くの方に周知し協力して頂けるよう検討していく。			

■総合評価基準

評価	評価基準
優良	すべてがAまたはSであり、Sが4割以上である。
良好	AまたはSが8割以上でCを含まない
一部課題あり	すべてがB以上の評価である
要改善	評価項目にCが含まれている

■総合評価

指定管理者		施設所管課	
総合評価 (自己評価)	良好	総合評価	良好
【成果・向上を図った点】 運営開始から3年目、市民の方々に多くご来館して頂き、日々利用者からの温かいお言葉を頂き、職員も大いに励まされている。この2年間で培った知識を活かし、利用者のニーズに合わせた支援事業を実施している。利用者に長く愛されるこども館運営を目指していきたい。 また大きな事故・怪我もなく3年目の運営が出来ているのは、施設維持管理の点検を徹底し、こども館全体の状況を職員全体で、共通理解している事が安全の確保につながっている。 個々の事業において、特に力を入れて行なったのが、「地域交流の発展」「施設環境整備」である。 「地域交流の発展」においては、昨年度より実施している		【評価すべき点】 利用者からの意見やこれまでの実績を踏まえ、ゆずりあい駐車スペースの設置、こども館での母親学級の実施、旧岩崎家末廣別邸への遠足など、新たな事業や取組のほか、日々の事務に関しても改善のための取組が行われています。 また、台風災害の際は、公共施設としての役割を認識し、被災者への対応としてミルク用のお湯の提供や施設の開放に積極的に協力していただきました。	

富里高校の吹奏楽部に協力していただき、「サマーコンサート」を今年度も実施した。昨年度の反省を生かし、音響調整や招待する方の枠も増やし実施した。

また、「中部包括支援センターとの交流」では、毎月の制作あそび、手遊び・体操だけでなく、公園の野菜や花の苗植え、夏休みには学童クラブで風鈴作りや折り紙づくりなどを通して交流を深めた。

新たな取り組みとして、学童クラブでは、夏休みに「旧岩崎家末廣別邸」への遠足を実施した。

ボランティア団体の末廣倶楽部の方々を中心に、消防署の方、市役所の方、地域の協力もあり、熱中症が心配される時期であったが、無事に行事を終えることが出来た。富里市の文化財に触れ、自然の中での水鉄砲づくり、地域の方との交流は児童にとって貴重な経験となった。

「環境整備」においては、施設利用者や公園利用者から、暑さがしのげる場が欲しいという要望が多かった為、市に利用者の声を届けることで市より砂場に日よけを設置していただく事が出来た。

また、送迎時に駐車場が混雑する事から、駐車スペースを有効活用できるよう「ゆずりあい駐車スペース」を設け対策を行った。

また、セブンイレブンの助成金を活用し、花の苗・プランター等の購入、支援利用者との土入れ・種まき・苗植え・色水遊びなどを行った。公園にお花がある事で、子どもから高齢者まで誰もががくつろげる場、コミュニケーションが図れる場となるよう環境の整備を行った。

その他、新たな取り組みとして、富里市健康推進課と連携を取り、「母親学級」の最終日を支援センターで実施する事で、こども館の周知につなげている。

今後も利用者の意見や要望を把握すると共に、利用者寄り添えるような、こども館運営を心掛けていきたい。

【課題・今後に向けて】

3年目を迎え、施設の修繕が必要な箇所も出てきているので随時、修繕を行い、子どもたちが安全に楽しく過ごせるこども館にしていく。

今後、実施するアンケートをもとに利用状況を分析し、利用者にあった講座の開催、頂いたご意見よりニーズに合ったこども館の運営を行っていく。

昨年度、天候により実施できなかった北部地区でのイベント開催を行う予定である。

【課題・今後に向けて】

開館から2年以上が経過し、安定した運営がなされています。

今後は、サービス向上のために行ってきた利用者の要望への対応以外にも、指定管理者として、管理運営を積極的・主体的に行い、さらなるサービス向上に努めてください。

また、職員、サポートスタッフ間で目指すべきこども館の姿や各事業の在り方を共有し、運営にあたってください。